

令和4年度 学校評価アンケートの結果について

新春の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様、全校生徒の協力をいただき、学校評価の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。来年度に向けて、東中の教育活動の参考とし、生徒の成長を願って、全職員で取り組んでまいりたいと思います。今後ともご協力をお願いいたします。

〈保護者アンケートの結果〉

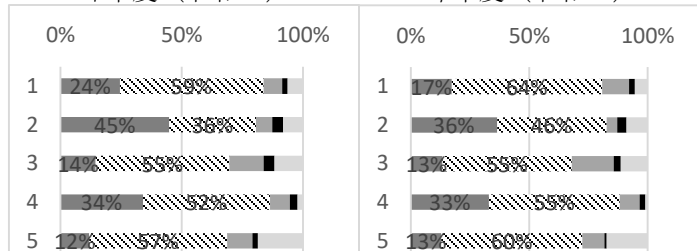
そう思う だいたいそう思う あまりそう思わない そう思わない わからない

I 本校の教育計画や教育活動に関わって

昨年度（令和3）

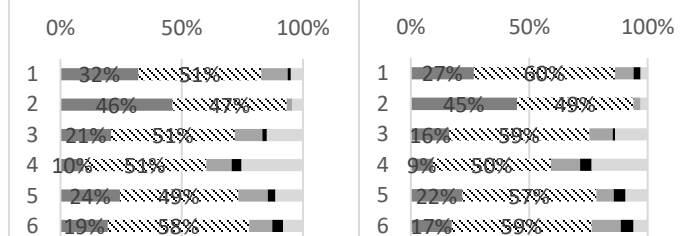
今年度（令和4）

1	今年度の教育活動(学習指導・生活指導等)は、生徒の成長に有効だった。
2	部活動は、友達と一緒に運動や芸術を楽しみ、自己の心身を鍛え磨く場となった。
3	学年・学級PTA・懇談会などを通して、生徒のよさや課題について共有できた。
4	学年通信・学級通信などを通して、学校の様子を知ることができた。
5	各教科で購入している教材は、生徒の学習への意欲を高めるものになっている。



II 授業参観などで来校された際に感じられたこと

1	東中の生徒は、明るい挨拶ができる。
2	学校は、きれいに清掃されている。
3	生徒が生き生きと学習活動に取り組んでいる姿を見ることが多い。
4	授業の内容が工夫され、進め方もわかりやすい。
5	教師の生徒への話し方や接し方に、温かさや厳しさがある。
6	学校施設や設備など、子ども達の学習環境には概ね満足できる。



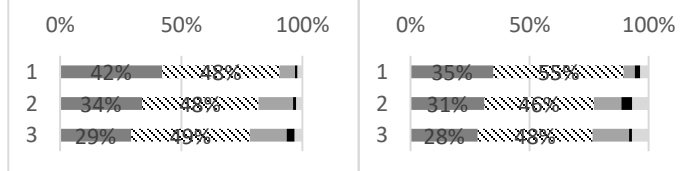
III お子さんの姿について

1	お子さんは、学校を楽しみに通っている。
2	お子さんは、意欲をもって授業や家庭学習に取り組んでいる。
3	お子さんは、学校での出来事を話したり、思いや考えたことを伝えたりしている。



IV お子さんの学年に合わせて

1	1学年:お子さんは、中学に入学し、小学校とのギャップを克服しながら生活できている。
2	2学年:お子さんは、1年時と比べ、一層充実した学校生活ができている。
3	3学年:お子さんは、適切な進路指導を受け、自らの進路決定に向けて準備している。



★今年度の教育活動についての肯定的な割合は、昨年度同様80%を超えました。

Iの1番の「今年度の教育活動(学習指導・生活指導等)は、生徒の成長に有効だった」について、「そう思う・だいたいそう思う」という肯定的な割合は81%で、昨年度同様8割を超え、東中学校の教育活動への理解をいただいていることが分かりました。「コロナ禍で登山に行けたこと、職場体験ができたこと、また修学旅行について前向きにとらえていただけていることに感謝します。今、この瞬間にこの仲間とできることを最大限取り組めるように考え動いてくださっていること、ありがとうございます」という保護者の皆様からの声をいただきました。今後も「ウイズコロナの教育活動」について、ご理解をいただきながら実施していきたいと考えています。

★Iの項目では、4番の「学年通信・学級通信などを通して、学校の様子を知ることができた」についての肯定的な回答は88%と、高い割合でした。今後も子どもたちの活動の様子や、活動を通して成長した姿をお伝えして参ります。一方、3番の「学年・学級PTA・懇談会などを通して、生徒のよさや課題について共有できた」についての肯定的な回答は68%と、その開きが20%ありました。今年度の参観日では、4月は学年学級PTAのみでしたが、6月と10月は感染対策を取りながら、授業参観も実施しました。「コロナ禍で授業参観に行く機会も少ないので、アンケートの回答に困ってしまう。子どもの学校での様子が一部しか見えない」という保護者の方の声もあります。引き続き、生徒のよさや課題について共有する機会を大切に考えて参ります。

★IIの項目では、5番「教師の生徒への話し方や接し方に、温かさや厳しさがある」について78%の肯定的な回答がありました。子どもたちにきちんと話して理解を促したり、子どもたちに任せて考えさせたりと、より適切な指導支援を行ってまいります。一方、4番の「授業の内容が工夫され、進め方もわかりやすい」についての肯定的な回答は59%、「わからない」と回答された割合は24%でした。上述しましたように、授業参観等で生徒の学習の様子を見ていただく機会が少なかったことも原因の一つであると思われます。また、「授業が分かりにくい教科がある、学習の習熟度にばらつきがある、先生によって授業の進捗に差がある」という保護者の方の声もありました。全職員で共通理解して授業づくりを進めて参ります。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教科会で学習指導の進め方について話し合い、実践して参ります。

★IIIの項目では、1番の「お子さんは、学校を楽しみに通っている」についての肯定的な回答は84%で、高い割合でした。子どもたちが友達と関わり合いながら学習活動することに楽しみをもっていることが分かります。これからも「子どもが登校を楽しみにする魅力ある学校づくり」を推進して参ります。一方、2番の「お子さんは、意欲をもって授業や家庭学習に取り組んでいる」についての肯定的な割合は67%で、1番と比べて17%のギャップがありました。学校そのものは楽しいけれど、「学習の点ではもう少し意欲がほしい」という表れだと思えます。中学生は、学習・進路など悩みを抱える時期です。教育相談の時間には、個々に授業や家庭学習の仕方をアドバイスしながら、学校生活・日常生活が充実するように声かけをしています。全校学習の時間には、教科担任に質問に来る生徒の姿が見られます。学ぶ楽しさやよさを感じ、主体的に学ぶ子どもたちの姿を目指して取り組んで参ります。

★保護者の皆様から学校への要望・質問・提案の欄に、子どもたちの服装についてのご意見を何件か寄せていただきました。ありがとうございます。夏季の服装について、盛夏時の半袖・ハーフパンツですぐすことや、冬季ではひざかけを許可していることなど、生徒手帳や校風委員会からのプリントに記載されています。今一度、お子さんと一緒に確認していただけたらありがたいです。これからも、暑さ寒さに応じて、子どもたちの体調管理を第一に考えて参りたいと思います。また、天候に合わせた服装を判断できるよう、子どもたちに引き続き声かけを行って参ります。どうぞよろしく願いいたします。

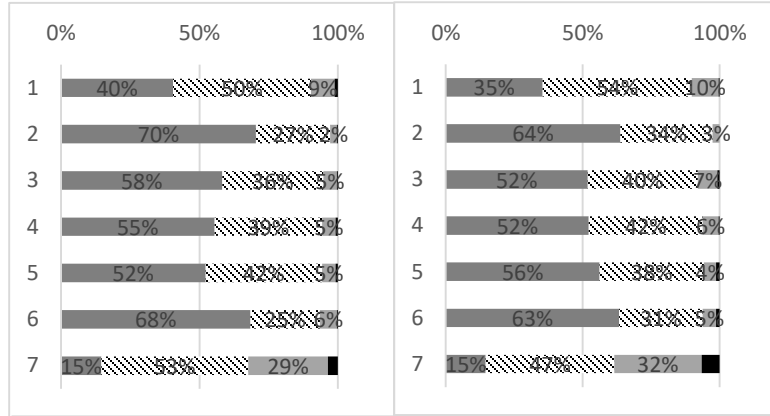
令和4年度 全校生徒アンケートの結果

<本年度の4つの重点>

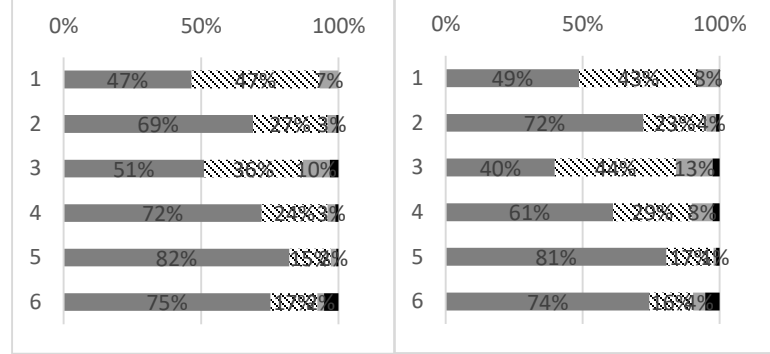
昨年度（令和3）

今年度（令和4）

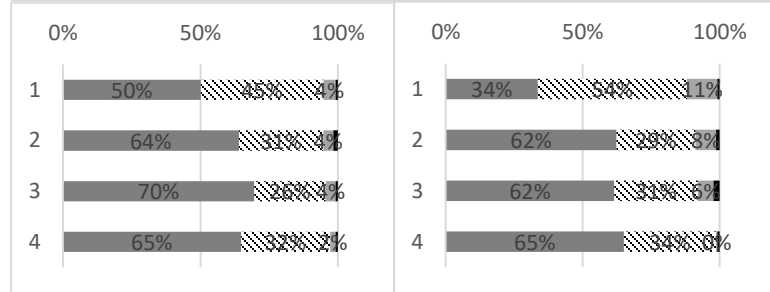
1 言語や情報を正しく活用して自分の判断に生かす



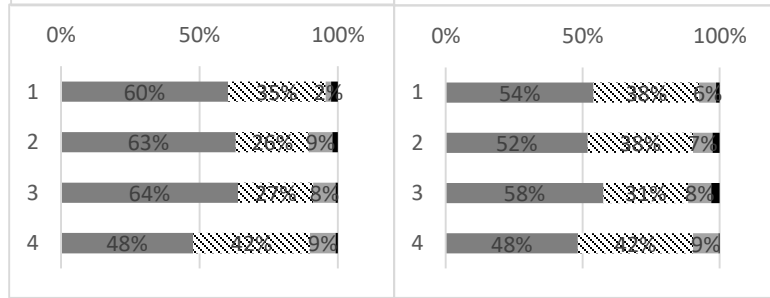
2 様々な価値観に触れる



3 あいさつや清掃など基本的な生活力の確立



4 他者への思いやり



そう思う だいたいそう思う あまりそう思わない そう思わない

<重点1: 言語や情報を正しく活用して自分の判断に生かす>

1～6番については、「そう思う・だいたいそう思う」という肯定的な割合が90%程度またはそれ以上となっています。概ねよい学びができ、学力向上につながっていると判断できます。特に、2番の「各教科の授業で分からないことについて、質問に答えてくれる先生が多い」については97%と高い割合でした。毎日の授業で、つまずきや困り感をつかみ、必要に応じて個別指導の時間を確保するなど、「わかる授業・追究する楽しさを感じ取れる授業」を目標に、授業改善に取り組んで参ります。一方、7番の「クロームブックを活用した授業」については、肯定的62%・否定的38%という結果でした。今後効果的な活用の仕方についてさらに研修を重ね、多様な活用を取り入れたいと考えています。

<重点2: 様々な価値観に触れる>

5番の「白樺祭の合唱に、心を込めて取り組めた」についての肯定的な割合は98%と高く、学年・学級合唱への取り組みについて、やりきった感をもっていることがわかります。仲間とのハーモニーの心地よさを感じながら、友達のよさを再発見する機会となったと思います。ただし、3番の「家庭学習」については、「そう思う」という積極的な肯定の割合が40%と他に比べて低いことがわかります。決められた課題をただ作業的に行うのではなく、基礎・基本の定着をはかり、自分の苦手な問題に挑戦する主体的な時間となるような家庭学習の内容を検討したり、取り組み方について、子どもたちに働きかけたりしていきたいと考えています。

<重点3: あいさつや清掃など基本的な生活力の確立>

4番の「学校の決まりを守り、落ち着いた生活ができた挨拶」についての肯定的な割合は99%と非常に高く、子どもたちが安心感をもって学校生活を送っていることがわかります。3番の「挨拶」については、「東中学校では、挨拶の声が十分出ているように思えるし、学年・先生関係なく誰にでも気持ちの良い挨拶ができていく点が良いと思います」という子どもの声もあり、東中のよき伝統の一つとして自覚されているように思います。今後も挨拶が響きあう東中を大切にしていきたいと思います。

<重点4: 他者への思いやり>

4つの項目すべてについて、肯定的な割合は90%程度です。1番の「学校生活は、楽しく充実している」については、92%の生徒が肯定的に受け止めています。授業中はもちろん、朝や休み時間、放課後の生徒の姿をとらえながら、話を聴いたり、考えさせたりしながら、引き続き、いじめのないお互いの良さを認め合える関係づくりに努めて参ります。